

地域と公民館をつなぐふれあい広場 2013・夏



つるみね



公民館だより NO.86

編集・発行 茅ヶ崎市立鶴嶺公民館 茅ヶ崎市萩園 2028-55
TEL/FAX 0467-87-1103 メール/kou_tsurumine@city.chigasaki.kanagawa.jp

主な記事

2～3面・春に実施した公民館の主な主催事業

《健康力アップ編》《徳やし系編》

4～5面・手話サークルつるの会地域福祉に貢献/30周年記念誌がタウンニュースに掲載される

6～7面・公民館だよりがインターネット時代に合わせて縦書きから横書きへ大幅刷新/
今年もゴーヤのカーテン登場です/公運審・利用懇だより

8面・異動職員のご挨拶/原稿募集/モニター募集ほか



今年もきたよ！毎年、公民館の近くの田んぼに登場。そのかわいい姿にとっても癒やされます

今年は5月から梅雨に入り、ジメジメとして気分がゆううつになる日が続きましたが、皆さまの体調はいかがでしょうか？ これからの厳しい夏を乗り越える対策はされましたか？

公民館では、昨年から日よけ（サンシェード）を子ども室に付けましたが、UVカットも出来て良いですよ。今年はさらに講義室にも付けてみました。厳しい西日からの対策になっているようです。

夕方からは、早めに自然の風も取り入れられますよ！この夏は、省エネの暑さ対策をして元気にお過ごしください。

館長/長島 滋

春の主催事業 ①

(健康力アップ編)



↑ 集中力・肺活量が鍛えられそうです

新事業として全3回の「スポーツ吹矢」が開催されました。スポーツ吹矢は、腹式呼吸法と日本古来の吹矢を合わせ、スポーツ性を持たせた競技で、25年程前にその下地ができました。

参加者は全員が初心者でしたが、神奈川県スポーツ吹矢協会の三根副会長の指導のもと、作法・基礎・競技の進め方を講座で学び、最終日には競技ができるまでになりました。講座開設と同時に、サークル「スポーツ吹矢鶴嶺」が発足し、鶴嶺公民館を中心に活動をしています。

4/13 開催

4/9 開催



音楽を聴きながらストレッチ講座

超高齢化社会が更に進行する中、元気で若々しいアクティブシニアを目指すための講座を開催しました。講師は、公民館ではおなじみの伊藤恵子先生（アミアンジャギー・ダンベルかえでの講師）。

内容は、約1時間たっぷりストレッチ。その名の通り体中の筋という筋を全て伸ばすのですが、このストレッチが結構大変で、日頃の運動不足をまざまざと痛感させられました。先生からは、「運動をする時は、まず正しい姿勢を作り、その姿勢を意識して自分の身体の軸を知ることが大切です。」と教えていただきました。皆さんは、大いに納得されていました。

最後に軽快な音楽に合わせて楽しくダンスをして終了しました。回を追うごとに人数が減ってしまったのは残念でしたが、参加された方からは「腰痛予防に大変役立ち、毎晩ストレッチして眠っています。これで終わってしまうのかと思うと少し淋しい。」などの感想が寄せられました。



和気あいあいと楽しい時間！

春の主催事業 ②

(癒やし系編)



癒やしの♪プリザーブドフラワーアレンジメント

プリザーブドフラワーとは、時間がたっても、本来の花の色があせることなく保存できるように加工された花のことです。そのプリザーブドフラワーを使って、各自が器に思い思いのデザインで花飾りをつくる講座を実施しま



↑素敵なバラのポットが完成

した。講師の杉山先生のご指導はとても優しい語り口で、アレンジメントは和やかに進んでいきました。初めて参加した方が多く、プリザーブドフラワーは繊細なので、作業に慣れるまで皆さんは悪戦苦闘している様子でした。しかし、時間がたつにつれて表情も和らぎ、和気あいあいとデザインを考えていた姿が印象的でした。フラワーアレンジメントは手先を使う作業なので、認知症の予防やケアにも効果的だそうです。最後に杉山先生から「ここで覚えたことを、今度は皆さんがご家族やご近所の方に伝え、コミュニケーションのひとつとして使ってください。身近な材料で出来るものですから。」とのお言葉がありました。フラワーアレンジメントを通して、地域が元気になったらとてもすてきなことですね。



↑穏やかな時間の流れの中で…

4/19 開催

5/15 開催

シニアのためのミニ講座

遊々クラブ

マイクロバスで行く花菜ガーデンと秦野



↑バラに囲まれてしあわせ～

5月はマイクロバスをチャーターして、公民館から平塚・秦野へ、お弁当を持って出かけました。平塚市寺田縄にある「花菜ガーデン」では、何百種ものバラが広々とした園内一面に咲き誇り、その美しさとやさしい香りに、皆様から感嘆の声があがりました。

お一人で参加された方も会話が弾み、以前からのお知り合いのように楽しんでいらっしやいました。

秦野へ向かう車中では、郷土史に詳しい尾坂郭子さんに、秦野について市名の由来や地理、歴史について解説をしていただきました。

秦野市「桜土手古墳公園」には復元された大きな円墳があり、ひんやりと薄暗い石室に入り興味津々。古代人と交信？したあとは、全国名水選「今泉湧水池」がある「今泉名水桜公園」へ。カワセミ、カワウ、カルガモなどの水鳥を見ることができました。カワセミが小魚を捕らえる瞬間に2度目の歓声が！

風薫る五月晴れの爽やかなミニ旅行、十二分に自然を満喫した一日となりました。



↑自然とたっぷり戯れた一日でした

手話サークルつるの会

茅ヶ崎市社会福祉協議会から感謝状



↑市社協から感謝状が贈呈されました

10年以上に及ぶボランティア活動に対するものです。鶴嶺小と鶴嶺中の総合学習で手話を教えています。今までに今宿小、萩園中や地域の子ども会などでも教えたことがあります。ろうの人にも一緒に行ってもらって、ろうについて理解をし、簡単な手話（あいさつ、日常会話）を教えます。手話にない単語は指文字を教えます。あきないように楽しみながら教え、将来の進路選択で手話のある学校に行く子もいます。

サークルの歴史も古く昭和57年の設立で、同じ年に開設した鶴嶺公民館の手話の講

平成24年12月22日開催の福祉大会（市文化会館小ホール）で、鶴嶺公民館で活動している手話サークルつるの会（代表 宇田川孝子さん）に、茅ヶ崎市社会福祉協議会から長年の地域福祉の貢献に対し、感謝状が贈呈されました。

座に参加した人たちが集まってできたサークルです。講師（斉藤富美子さん）は30年同じ、30年続いている会員（尾坂シズさん）もいます。手話は派手さがなく続けていないと案外難しく、地道な勉強が必要です。公民館まつりには、毎年出演し手話ソングを歌っています（手話をするには舞台が狭いのが難）。

先輩方がたゆまず長く続けてきてくれたおかげで今回感謝状をいただきました。この感謝状をはげみに、災害の時のろうの人の避難の援助など、今後も公民館を中心にして地域に貢献していきたいです。

小・中学生夏休みサークル体験（7/21～8/31）

今年の夏休みサークル体験は、中学生向けもはじまります。もちろん小学生向けも充実したメニュー。夏休みに公民館のサークル活動に参加して、夏休みの思い出を作ってみませんか。吹矢、ウクレレ、習字、てんこくなど

参加申込 7/6（土）から（申込み順）



30周年記念誌発刊に際して、タウンニュースに大きく掲載。

その全文をご好意により転載します。

地域に慕われ 30年

鶴嶺公民館(茅ヶ崎市萩園2028-55)が、さきごろ「つるみね 私たちの公民館*30年の歩み」を発行した。これは2012年5月7日に同公民館が開館30周年を迎えたことを記念し、作成されたもの。

10周年と20周年の際にも記念誌を発行しており、今回で3作目となる。

同誌は、全170ページで構成され、2012年11月25日に開催された文教大学現学長の野島正也教授による開館30周年記念講演「地域と公民館について…過去、そして未来」の内容ほか、開館30周年記念100人アンケートやサークル30年史、公民館まつり30年史などが掲載されている。

編集には、同公民館の職員以外に同公民館所属のサークルメンバーや公募で募った地域の人々が積極的に関わり、製本は市役所で行った手作りだという。300部の発行で、編集などに協力した人々を中心に配布している他、公民館の資料として保存している。また希望者には、理由を聞いた上で配布する場合もあるという。

同館は、地域教育の拠点としての位置づけをしっかりと捉えた運営を行っている。例えば、さまざまな講座を積極的に開き、多彩な学びの入り口を設けたり、さらにそこから深まった関心事を、探究することができるサークル等の場も作り、地域活動に協力的な立場をとっている。開館年の1982年から創立し、30年続く「筆友会」は、その代表的サークルの1つで、



「親しみやすい公民館を目指しています」と長島館長

同誌でも紹介されている。

館長の長島滋さん(54)は「地域の人々に支えられて鶴嶺公民館は成り立っています。建物は少し古くなりましたが、これからも地域に根差した公民館として、そして社会教育の拠点としての役割を果たしたいです。開館した当時通っていた子どもたちが、今では親となり、自分の子どもを連れて親子2代で利用してくれるのは本当に嬉しいことです」と朗らかな笑顔で語った。

今回は、過去の「鶴嶺公民館便り」に連載掲載されていた「鶴嶺の郷土誌」(薬品彦一著)をまとめた小冊子も同時発行された。

30周年記念誌→

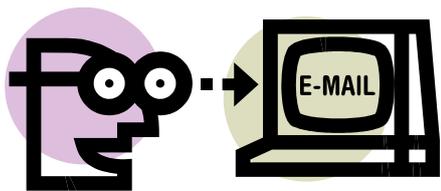


←鶴嶺の郷土誌

VOICE

地域にも大きな反響があり、公民館に届いた、その声の一部をご紹介します。

- ・長い間利用させていただき、なつかしく思い出しました。
 - ・自分の人生と公民館のかかわりがよくわかり、感慨深いです。
 - ・公民館でいろいろと学び経験して、現在も大変お世話になっています。
 - ・一番大好きな公共施設でもある場所なので、30周年をお祝いする気持ちでいっぱいです！
- そのほか、たくさんのあたたかいメッセージをいただきました。ありがとうございました。



大幅刷新 新公民館だより誕生！
～インターネット時代にふさわしい公民館だよりに変身～

30周年を迎え鶴嶺公民館は新たなスタートを切りました。今号をごらんになった読者のみなさんは、何かお気づきでしょうか。そうです。従来の縦書きから横書きの紙面に一新しました。情報化社会が地域の中に静かに浸透していき、インターネットを使いこなしていくことが、日常的になる社会が、すぐそこまできています。電子ブックに代表されるように、環境という側面からも紙のメディアから、電子メディアに置き換わろうとしています。子どもたちがスマートフォンを体の一部のように使いこなし、メールによるコミュニケーションも当たり前になっていることも時代の象徴ではないでしょうか。

公民館だよりも、インターネットとの親和

性を高めていくことは、今後の新たな目標と考えていきたいものです。ホームページを見るように、ネット世代が公民館だよりを違和感なく親しめる存在。そんな紙面づくりをめざしています。

レイアウトなども、今後も編集委員会を中心にインターネット時代にふさわしいものをみんなで学習しながら進めていきます。

興味のある方は、学習型の紙面づくりにぜひご参加ください。まずは、縦書きから横書きに大きく舵をきりました。今後の変化にご期待ください。

今年もゴーヤ君大活躍の予感

昨年は、公民館ロビー南側全面がゴーヤで壁紙のように変身して、利用者みなさんに大好評だった巨大なゴーヤのカーテン。昨年公民館で採種され、今年も事務室内に置いた、水を薄く張ったトレイの中で、目を覚ました、ゴーヤのベイビーたちは、今年も小さな芽が元気に顔を出しています。

公民館のロビーにきたら、ゴーヤに囲まれ、ちょぴりいやされた、なんて、そんな肩ひじを張らない無理のない環境への配慮が長続きするコツかもしれませんね。

涼しげなゴーヤのカーテンをみて、おうちでもやってみたいなという方は、公民館の事務室にお気軽にお声掛けください。ご要望が多い場合は、今年は昨年以上に種取を考えてみたいと思います。



↑いずれは巨大なゴーヤカーテンに

公運審だより

公運審委員になり、今年で2年目になります。最初は、何をすれば良いのか、どうしたら良いのか迷い、手さぐりの状態でしたが一年間がたち、最近になってやっと多少ですが理解が出来てきました。公民館とコミュニティーセンターとの違いがわかりました。公民館の自主事業の多さに驚きました。いかにして参加人数を増し参加した人たちが楽しくて良かった、また参加したいと言う声が聞けたらいいと思います。

私事ですが、現在、青少年指導員、中学校の部活動を見えています。また、茅ヶ崎市応急手当普及協会の指導員もさせていただいています。それぞれ楽しい事が多く、部活動の子どもたちともいろいろな話をしたり、時には激励したりと、楽しい毎日を過ごしています。応急手当の方では、中学3年生を主に授業の中で講習会を行っています。今年1年よろしく願いいたします。

公民館運営審議会委員 土屋 豊

平成25年度利用者懇談会世話人会

八木沢 広美 (代表 パソコンやまいもの会)

吉田 幸子 (副代表 アミアンジャギー)

小池 恵美 (副代表 ひざっこぞう)

高橋 勝行 (書記 鶴嶺愛吟会)

石濱 司 (書記 Power's)

関 年子 (松泉会)

菊地 絹代 (つづれ会)

田代 雅昭 (鶴嶺美術クラブ)

高橋 武幸 (パソコン鶴嶺)

田中 君子 (淡彩ちがさき)

植松 珠三子 (KMC)

小室 光 (茅ヶ崎紙芝居研究会さわやか)

高橋 良恵 (スイトピー)

鶴岡 莞子 (鶴嶺体操クラブ)

石黒 中子 (ハラヴォードの会)

蓼川 和美 (FC今宿)

佐藤 美恵子 (オリーブ)

石井 幸子 (仲間づくりかよう会)

利用懇だより

私は8年前にこの地へ引っ越し、定年をむかえた4年前にM氏に背中を押されて公民館のサークルに入会し、利用者懇談会や世話人会に顔を出すようになったのですが、それまでは公民館の存在を知りませんでした。

私がこの地へ来て何が良かったか?と聞かれたら一番は小出川の存在です。毎日双眼鏡をもって野鳥観察をしながら散歩できるからです。冬になって多くの野鳥が小出川に飛来するのが楽しみになるほどなのですが、それも自然保護や植樹により緑が保全されている結果でしょう。2番目は公民館の存在です。サークル活動での学習、仲間とのふれあい、世話人会などで多くの方との知り合いができました。散歩の途中ではふらっとたちより休憩したり、図書室で本を探したりします。「鶴嶺公民館30周年記念誌」が完成し、玄関を入ると右側に置かれてあり、誰でも閲覧できます。各サークルの歴史紹介やたくさんの写真が掲載されていますからご覧になると懐かしい思い出がよみがえるかも分かりません。開館と同時に活動を始めて現在も活動されているサークルや団体もあります。敬意を表します。公民館には監視カメラや、やっかいなローカルルールなどはありません。そんな自由な雰囲気公民館をみんなで気持ち良く利用し、いつまでも残したいものです。

利用者懇談会世話人会 八木沢 広美



お世話になりました

今年の冬は記録的な寒さだったわりに、春の訪れが早く、風に散る満開の桜に見送られて退職の日を迎えることができました。



東日本大震災の直後の4月から鶴嶺公民館で勤務させていただき、あっというまの2年間でしたが、地域の「絆」の大切さが叫ばれる中で、公民館になにができるだろうと考える日々でした。

震災後に作られた『花は咲く』の歌詞のように、まだまだ公民館で「叶えたい夢も」あり「変わりたい自分も」いたような気もするのですが、ともかくも年度内に30周年記念誌をだせてよかったと思っております。

利用者の皆様には本当にお世話になり、ありがとうございました。(渡邊 初代)



よろしくお祈りします

四月より嘱託員として勤務させていただいております。公民館の全体の流れがようやく理解できたところで、まだまだ右往左往の毎日ですが、来館された方の笑顔が活力となっています。



館を利用されている方、館主催事業にご参加くださる方、心強いボランティアスタッフ、皆様のエネルギーが、絆を深め、絆の輪をひろげていると感じています。近年、地域力の弱体化などが問題視されていますが、ここ鶴嶺公民館には地域力や絆が育まれています！四季を愛でることのできる豊かな自然環境と素晴らしい出会いに、期待を膨らませています。微力ながら皆様のお役に立つことができれば幸いです。どうぞよろしくお祈りいたします。(田畑 洋子)

編集後記



☆校正原稿を片手に四苦八苦していると「ゲロゲロ」どこからかカエルの鳴き声が・・・なんといやされることでしょう。便りがお手元に届く頃にはカルガモとの混声合唱が聞けるかも(田)

☆縦のものを横にもしないのに、たよりを横にしてみました。これからは、成長する横版たよりの正念場です。(島)

☆30年間続いているサークル取材して、30年分の思いが詰まった公民館であることを学びました。(星)

紙面作りにご協力ください



●原稿募集

- 詩・短歌・俳句・川柳・ミニエッセイ・絵手紙・書道・写真・イラストなど、作品を公民館までお寄せください。
- テーマは自由ですが、公序良俗に反するもの、公民館だよりにふさわしくないものは掲載できません。
- 応募作品の返却はできません。
- 文章はスペース等の関係上等で、手を入れさせていただく場合があります。

●モニター募集 (小学校3年生～)

- 「つるみね」に対する様々なご意見をお聞かせください。

えぼし麻呂登場!

公民館まつり最終日の3/3(日)午前中、萩園第3公園の模擬店会場、講義室のみんなの広場にえぼし麻呂がサプライズ登場しました。探検好きのえぼし麻呂、公民館まつりを見て「楽しいぞよ!」と言っていたとか。記念撮影にも忙しかったえぼし麻呂。公民館まつりへの参加に感謝!

